


インフロニア・ホールディングス株式会社による
水ing株式会社の株式取得について



Apr 15, 2026

アナリスト向け説明会

株式取得の概要

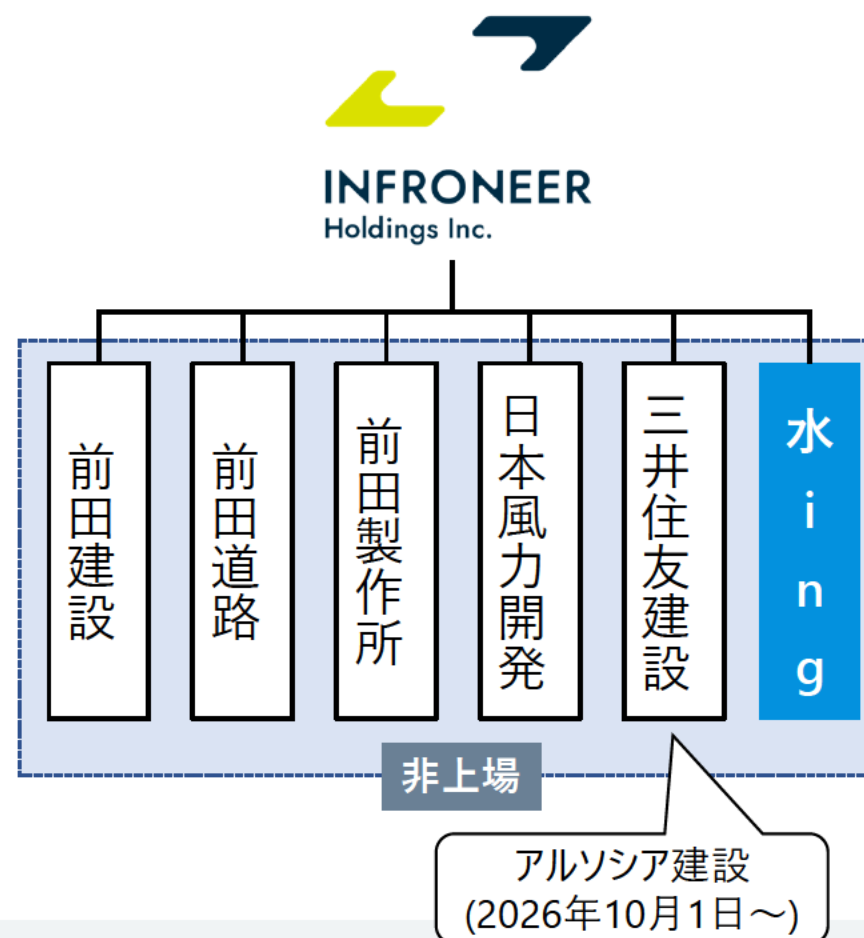
インフロニア・ホールディングスは、2026年7月1日に水ingの全株式を取得します

企業概要

社名	水ing株式会社
設立	1977年4月
代表者	代表取締役社長 安田 真規
資本金	5,500百万円
上場取引所	非上場
従業員数	4,074人 (25年9月末現在)

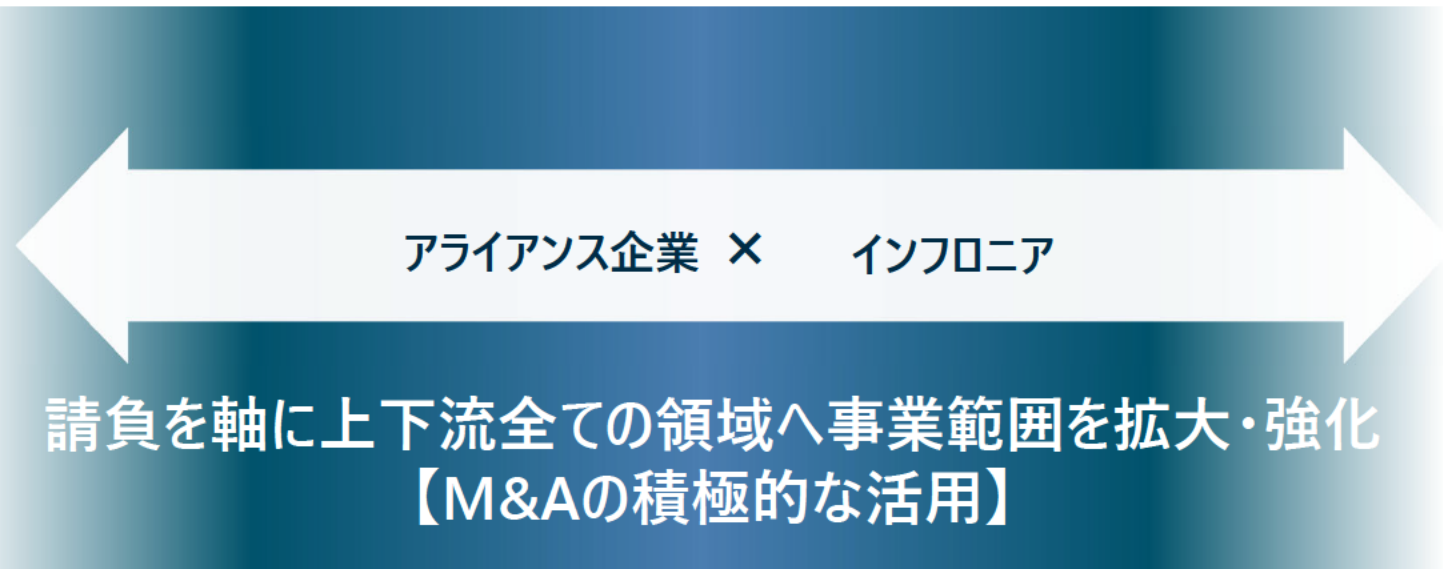
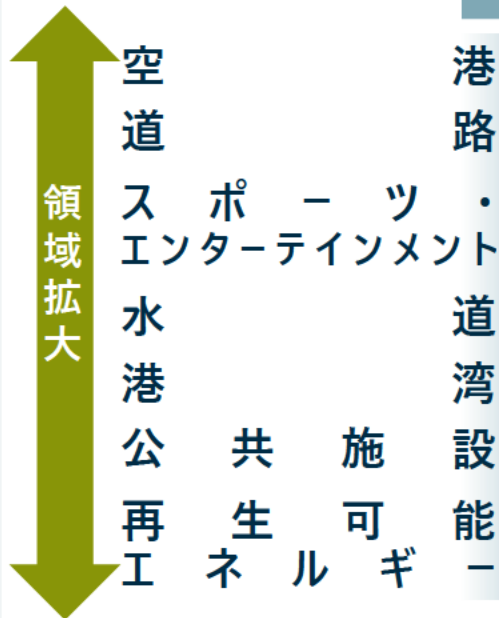
社名	インフロニア・ホールディングス株式会社
設立	2021年10月1日
代表者	代表執行役社長 岐部 一誠
資本金	20,000百万円
上場取引所	東証プライム (証券コード5076)
従業員数	13,956人 (25年9月末現在)

株式取得後



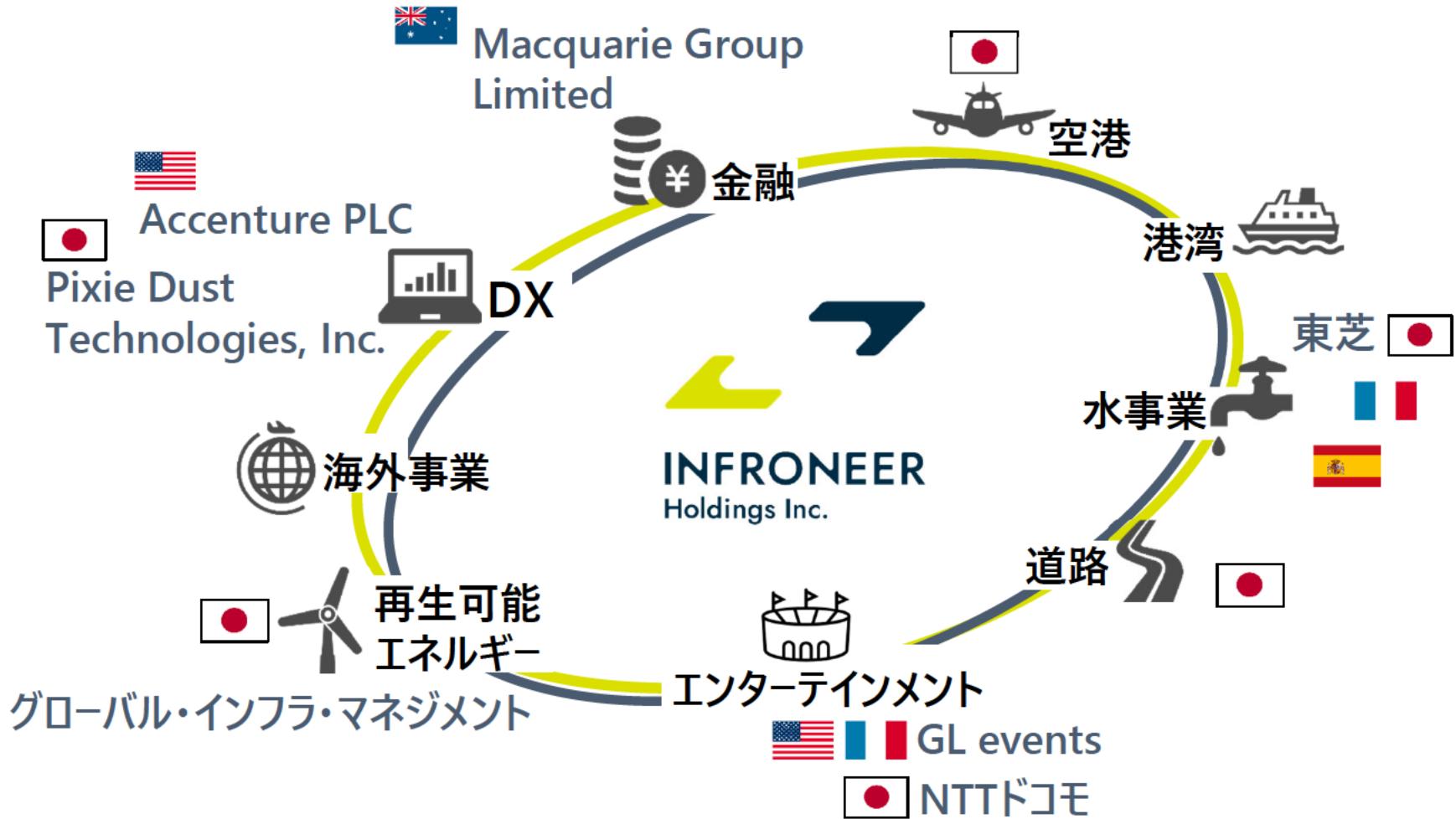
インフロニアが目指すビジネスモデル

従来の請負ビジネスから脱却（脱請負）し、インフラの上流/下流へと事業領域を拡大
『総合インフラサービス企業』へ



インフロニアの戦略

グローバルに多様なパートナーと連携



インフラを取り巻く社会課題

国・地方公共団体だけでは社会課題を解決できない

→ 官民連携(コンセッション*)による解決が必要

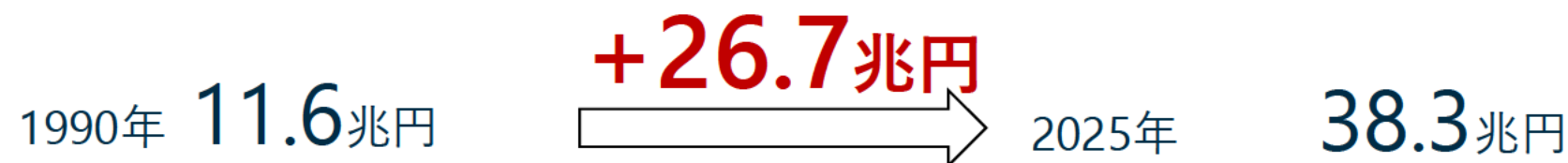
*インフラの所有権を公共に残したまま民間が運営する手法

◆インフラの老朽化による維持管理・更新費の増大



(出典：国土交通省「国土交通省所管分野における社会資本の将来の維持管理・更新費の推計」)

◆少子高齢化による国の財政的制約(社会保障費の増大)



公共事業費等は+4.8兆円

(出典：財務省「これからの日本のために財政を考える」)

◆地方公共団体職員の担い手不足



(出典：国土交通省「インフラメンテナンスにおける包括的民間委託導入の手引き」)

インフロニアの戦略

官民連携(コンセッション)は2タイプに分類されるが
インフロニアはどちらにも対応

コンセッション

売上拡大型

代表分野 スタジアム、アリーナ、空港 等

IT/DXの活用 施設の魅力度向上

コストコントロール型

上工下水道、道路 等

オペレーション最適化

なぜ、水ingなのか

上工下水道施設の**バリューチェーンを一気通貫でマネジメント**
 国が政策的に推進する**ウォーターPPPでの競争力強化**

	経営	EPC (土建)	EPC (機械)	EPC (電気)	O&M
インフロニア 水ing	✓	✓	✓	✓	✓
A社			✓	✓	✓
B社	✓		✓		✓
C社			✓		✓
D社			✓		✓
E社					✓

※当社が実施した意見交換等の独自調査に基づく

なぜ、水ingなのか

水ingの全国300以上の拠点を活用した 総合インフラサービス（群マネ）の推進



期待するシナジー

◆コア事業の成長

例：EPC、メンテナンス、O&Mの受注拡大

◆ウォーターPPPの成長

例：DX推進、コンセッション案件の強化、群マネ

◆社会的価値向上

例：災害対応における連携、再エネ事業との連携

◆人材マネジメント

例：採用活動、人材育成等における連携

◆R&Dの強化

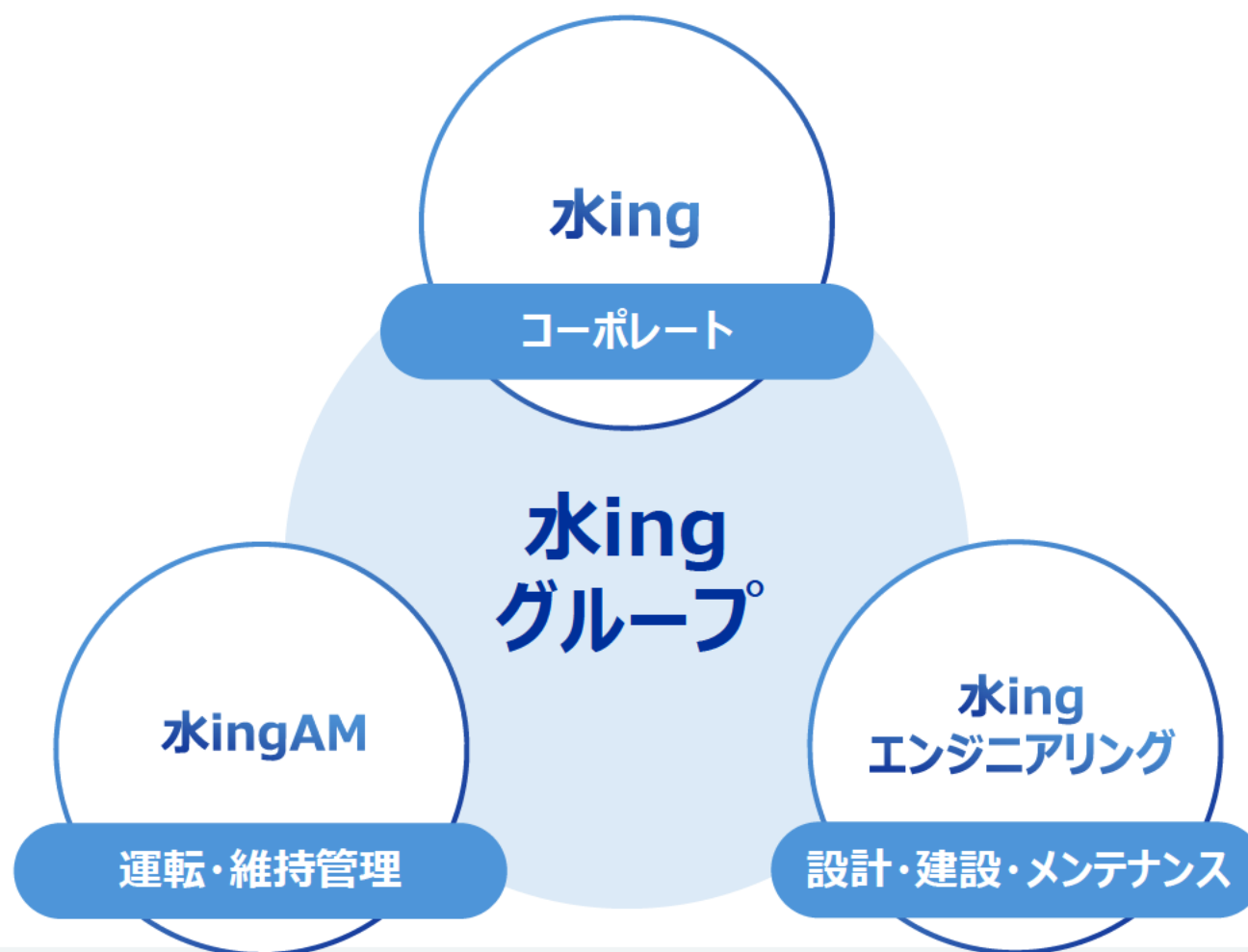
例：研究開発での連携、相互の運営現場の活用

水ingグループの概要

水ing

水の先をつくれ。

生命の源である「水」を通じて
いつまでも社会に貢献し続ける



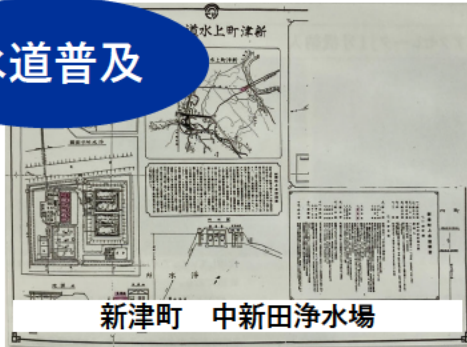
水ingグループのあゆみ

100年間 社会変化と共に、水を作り、支えてきました

「水の先をつくれ。」
価値を作り続ける
総合水事業会社へ

基幹インフラなのに舶来品しかない時代
1931:国産初 水道施設納入
(急速ろ過装置)

水道普及



新津町 中新田浄水場

水ingAM(株)設立、水ingのOP&M事業承継
水ingエンジニアリング(株)設立、水ingのEPC事業承継

2026

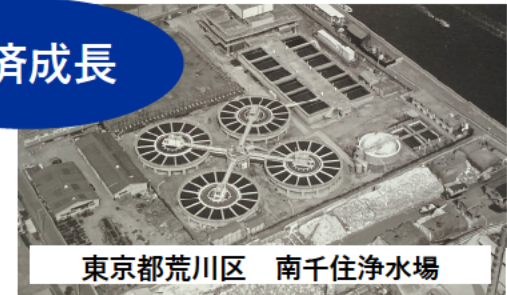
2018

2011

社名を **水ing株式会社** に変更

急速な工業化で深刻な水不足の時代
1965: 世界初下水道処理水を
工業用水として再利用

経済成長



東京都荒川区 南千住浄水場

三菱商事、日揮がEESに資本参加
2010

荏原グループの全水関連事業
をEESに統合
2009

荏原製作所と荏原インフィルコが合併
荏原エンジニアリングサービス (EES) に商号変更
1994

荏原インフィルコエンジニアリング
サービス設立
1977

荏原インフィルコ(株)設立
(米インフィルコ社と合併)
1956

荏原製作所 設立
1920

1912

日本の水インフラ
のパイオニア

化学肥料の台頭で
し尿が海に捨てられていた時代
1960:日本初方式の

し尿処理施設納入
(活性汚泥法)

公衆衛生



平塚市 し尿処理施設

富栄養化による公害が社会問題だった時代
1976: 日本初 栄養塩除去可能な

し尿処理施設納入
(循環式硝化脱窒素処理法)



松江市川向し尿処理場

水ingグループの事業領域

「水インフラ × 設計・建設・メンテナンス・運転/維持管理」の収益基盤を深化させ、長期運営型事業（ウォーターPPP等）を成長ドライバーとして強化する併せて、「資源循環」や「社会課題起点」の事業探索も推進していく



スケジュール

2026年4月14日(火)

株式譲渡契約の締結

2026年7月1日(水)から

インフロニアグループの完全子会社化へ

【注意事項】

本資料に記載されている業績数値は、決算短信の数字を億円単位とし、四捨五入しております。
また、業績計画等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります。

インフラの未来に挑む
Challenge the status quo

 **INFRONEER Holdings Inc**

